

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

2020年 6月 17日

（宛先）

滋賀県知事殿

提出者

住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県大津市馬場1丁目15番15号

氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）

大津板紙株式会社

代表取締役社長 竹内 正人

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第3項・~~第20条第4項~~・~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称および代表者の氏名）	大津板紙株式会社 代表取締役社長 竹内 正人
事業者の住所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県大津市馬場1丁目15番15号

1 事業所の概要

事業所の名称	大津板紙株式会社					
事業所の所在地	滋賀県大津市馬場1丁目15番15号					
主たる事業	細分類番号	1	4	2	2	板紙製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者					

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

計 画 期 間	2021	年度 ~	2023	年度
---------	------	------	------	----

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

大津板紙株式会社は、板紙の製造会社として古紙のリサイクルにより社会が求める製品及びサービスと信頼を持続可能な形で提供しつつ、地球環境と調和した豊かな生活・文化・社会の創造を目指した活動を展開します。

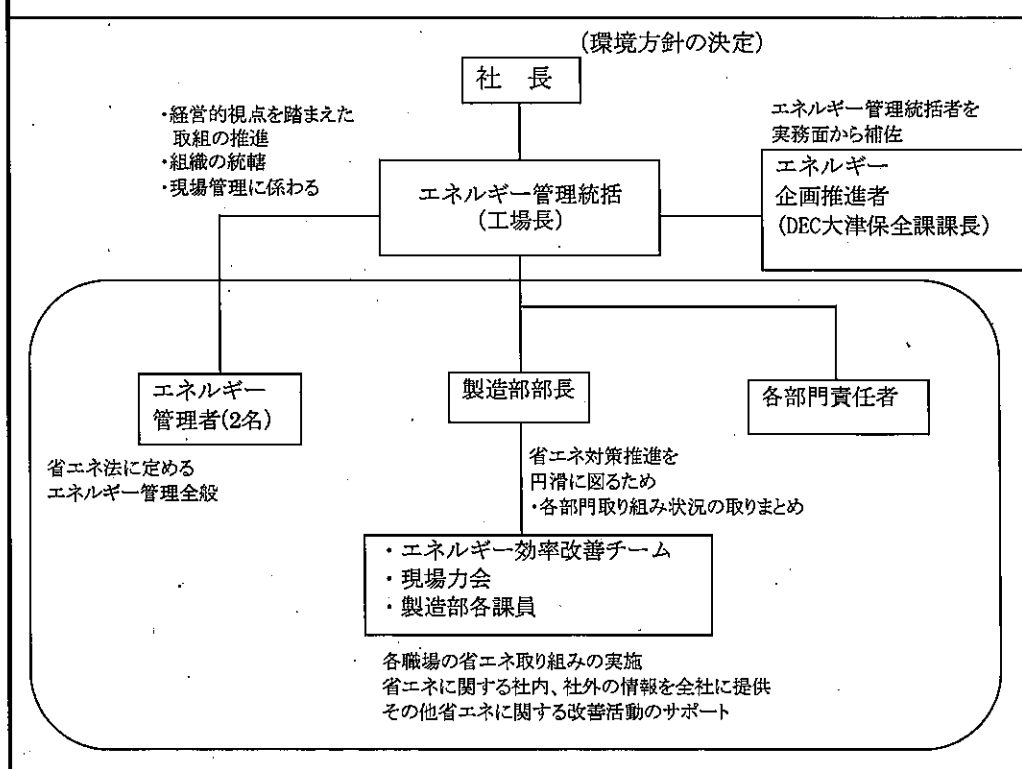
- 1.自主的な環境保全活動を推進するため、環境マネジメントシステムの維持向上に努め、外部環境の変化に対応した環境リスク対策と、環境負荷の継続的改善を図ります。
- 2.CO2 排出量の削減を目指して、古紙の高度利用、省エネルギーの推進向上によるリサイクルの推進、産業廃棄物の的確な分類、生物多様性の保全等に努め、地球環境保全並びに持続可能な循環型社会の形成に貢献します。
- 3.環境事故・クレームを予防するため、外部環境の変化に対応したリスクを先取りした環境保全活動を展開します。

(環境保全活動の3本柱)

- 1) 環境保全活動に対する社員の「意識と知識」の向上
- 2) 異常の兆候をとらえ正常に運転できる「操業方法」の確立
- 3) 機能を正常に発揮できる「設備」への改善
4. 社会や地域における環境保全への支援、協力活動を積極的に行い、社会に貢献します。  
また、地域住民や行政機関と積極的にコミュニケーションを図り、地域と良好な関係を維持します。
5. 法令・社会規範・社内規則の遵守、並びに「倫理規定」に基づく行動の遵守を徹底し、社会から信頼される企業であり続けます。
6. 環境方針を達成するために、事業活動を定期的に環境影響評価し、環境目標を設定して環境活動を推進します。また、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

○責任者 取締役技術担当(エネルギー管理統括者)



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

1 / 2

## 第1期計画期間(2012年～2014年度)の主な取り組み事例

### 【2012年度】

- ・工場内照明器具の省エネタイプ照明器具への推進  
温室効果ガス排出削減量 : 46.0 (t-CO<sub>2</sub>) ※21.9kL/年 削減(原油換算)
- ・石山物流センターへの太陽光発電システム導入 (年間発電量308,000kwh)  
温室効果ガス排出削減量 : 113.3 (t-CO<sub>2</sub>) ※79.2kL/年 削減(原油換算)
- ・設置後30年以上経過している変圧器の更新  
温室効果ガス排出削減量 : 23.9 (t-CO<sub>2</sub>) ※13.2kL/年 削減(原油換算)
- ・ドレンカートリッジフィルタ仕様変更によるドレン温度アップ(給水温度72℃→80℃へ)  
温室効果ガス排出削減量 : 319.3 (t-CO<sub>2</sub>) ※168.2kL/年 削減(原油換算)

### 【2013年度】

- ・マシン送り蒸気設定圧力変更による  
温室効果ガス排出削減量 : 274.4 (t-CO<sub>2</sub>) ※142.2kL/年 削減(原油換算)
- ・工場内暖房・加温用蒸気削減による省エネ  
温室効果ガス排出削減量 : 283.3 (t-CO<sub>2</sub>) ※150.7kL/年 削減(原油換算)
- ・タービン背気圧力変更による発電出力アップ<sup>°</sup>  
温室効果ガス排出削減量 : 431.8 (t-CO<sub>2</sub>) ※209.8kL/年 削減(原油換算)
- ・HWT温度仕様変更による給水加温用蒸気の削減  
温室効果ガス排出削減量 : 243.0 (t-CO<sub>2</sub>) ※129.8kL/年 削減(原油換算)
- ・発電設備BTG冷却水Puのインバータ化  
温室効果ガス排出削減量 : 82.1 (t-CO<sub>2</sub>) ※39.9kL/年 削減(原油換算)

### 【2014年度】

- ・2号機ドライヤファンインバータ化  
温室効果ガス排出削減量 : 88.7 (t-CO<sub>2</sub>) ※42.5kL/年 削減(原油換算)
- ・12KPSL停止による省エネ  
温室効果ガス排出削減量 : 109.6 (t-CO<sub>2</sub>) ※52.4kL/年 削減(原油換算)
- ・タービン背気圧力変更による発電出力アップ<sup>°</sup>(100kw/h)  
温室効果ガス排出削減量 : 438.5 (t-CO<sub>2</sub>) ※209.8kL/年 削減(原油換算)
- ・ガスタービン吸気噴霧による発電出力アップ<sup>°</sup>(125kw/h)  
温室効果ガス排出削減量 : 175.3 (t-CO<sub>2</sub>) ※80.3kL/年 削減(原油換算)
- ・節炭器洗浄による熱交換率アップ<sup>°</sup>  
温室効果ガス排出削減量 : 375.5 (t-CO<sub>2</sub>) ※195.3kL/年 削減(原油換算)

## 第2期計画期間(2015年～2017年度)の主な取り組み事例

### 【2015年度】

- ・2号機No4ファンポンプインバータ更新  
温室効果ガス排出削減量 : 15.6 (t-CO<sub>2</sub>) ※7.3kL/年 削減(原油換算)
- ・石山物流センター倉庫内水銀灯のLED化  
温室効果ガス排出削減量 : 22.6 (t-CO<sub>2</sub>) ※11.0kL/年 削減(原油換算)

- ・ 低圧変圧器負荷統合による老朽化変圧器停止による省エネ  
温室効果ガス排出削減量 : 5.3 (t-CO<sub>2</sub>) ※2.5kL/年 削減(原油換算)
- ・ プレスルーツ電動機高圧化による専用変圧器停止  
温室効果ガス排出削減量 : 11.2 (t-CO<sub>2</sub>) ※5.3kL/年 削減(原油換算)
- ・ 工場内ディスク式スチームトラップを省エネタイプ交換(24台)  
温室効果ガス排出削減量 : 25.9 (t-CO<sub>2</sub>) ※13.7kL/年 削減(原油換算)

## 【2016年度】

- ・ 3次、4次チールスクリーン 1台化による省エネ  
温室効果ガス排出削減量 : 140.4 (t-CO<sub>2</sub>) ※67.2kL/年 削減(原油換算)

## 【2017年度】

- ・ 4号機No1プレス線圧変更による乾燥蒸気量削減  
温室効果ガス排出削減量 : 261.6 (t-CO<sub>2</sub>) ※135.0kL/年 削減(原油換算)
- ・ 低圧変圧器更新による省エネ  
温室効果ガス排出削減量 : 4.0 (t-CO<sub>2</sub>) ※2.2kL/年 削減(原油換算)

## 第3期計画期間(2018年～2020年度)の主な取り組み事例

## 【2018年度】

- ・ エアリークテスタによるエア漏れヶ所特定、対策による省エネ  
温室効果ガス排出削減量 : 8.0 (t-CO<sub>2</sub>) ※4.6kL/年 削減(原油換算)

## 【2019年度】

- ・ ガスタービン式コージェネレーション設備更新  
温室効果ガス排出削減量 : 1190 (t-CO<sub>2</sub>) ※710kL/年 削減(原油換算)
- ・ 清水ブースターポンプINV→IPMへ更新  
温室効果ガス排出削減量 : 9.9 (t-CO<sub>2</sub>) ※5.7kL/年 削減(原油換算)

## 【2020年度】

- ・ 工場計装コンプレッサー更新による省エネ  
温室効果ガス排出削減量 : 36.4 (t-CO<sub>2</sub>) ※25.8kL/年 削減(原油換算)
- ・ 高効率変圧器へ更新及び統合  
温室効果ガス排出削減量 : 10.2 (t-CO<sub>2</sub>) ※5.0kL/年 削減(原油換算)

## その他取り組み

- ・ 省エネタイプ照明器具への取り組み(順次取組中)  
工場: 水銀灯→セラミックメタルハライドランプ、水銀灯形LED(テスト的に導入)  
外灯: 水銀灯→LEDランプ  
事務所: 蛍光灯→HF蛍光灯、LEDランプ
- ・ 蒸気ドレントラップの漏れ管理
- ・ 工場エア漏れ箇所の診断及び漏れ修理
- ・ 冷暖房時の適切な温度設定
- ・ 社用車のアイドリングストップ
- ・ 常時の業務場所である事務所の蛍光灯の不要時消灯、照度管理による蛍光灯の間引き
- ・ 自家用貨物車のエコドライブを心掛け軽油使用量を削減
- ・ グリーン購入の推進
- ・ 廃棄物の発生抑制(場内資源ゴミ分別、リサイクル)

## (第3面)

## 5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	パルパー設備レイストアップチャンパーへ交換による重量異物除去それによるFR停止 原油換算:581.0 KL、CO <sub>2</sub> 削減量:790.7 t-CO <sub>2</sub>	2023年度
2	設備導入対策	4MCドライヤーフード外装断熱施工によって乾燥効率改善、製品歩留まり向上 原油換算:57.5 KL、CO <sub>2</sub> 削減量:113.4 t-CO <sub>2</sub>	2021年度
3	設備導入対策	D/Sコンプレッサー吸排気改善による軸動力低減省エネ 原油換算:12.5 KL、CO <sub>2</sub> 削減量:17.1 t-CO <sub>2</sub>	2021年度
4	設備導入対策	高効率変圧器へ更新・N原ファンポンプ用TR、セパレータ用TR、2MCワインダ用TR 原油換算:7.3 KL、CO <sub>2</sub> 削減量:9.9 t-CO <sub>2</sub>	2021年度 2022年度
5	運用対策	エアリークテスタによるエア漏れカ所特定、対策による省エネ 原油換算4.6KL、CO <sub>2</sub> 削減量6.2t-CO <sub>2</sub>	2021年度～ 2023年度
6	設備導入対策	工場内照明器具の省エネタイプ照明器具への推進 工場: 水銀灯→LED照明 外灯: 水銀灯→LEDランプ 事務所: 蛍光灯→HFタイプ蛍光灯、LEDランプ	2021年度～ 2023年度
7			
8			
9			
10			
11			

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

## (3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

上記取組みにより2020年度を基準年として年1%以上の省エネ(原単位ベース)達成を目指し、温室効果ガス低減に努めます。

$$\text{原単位} = \left[ \frac{\text{温室効果ガス排出量}}{\text{生産量(t)}} \right] \text{で毎年1\%削減}$$

なお、原単位の考え方は次の通りです。

温室効果ガス排出量は製品の生産量に大きく影響を受けるため、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

○古紙100%リサイクルを通じた低炭素社会づくりへの貢献

大津工場では古紙100%リサイクルによる安価で良質な段ボール原紙の供給により、環境負荷の低い包装製品を社会に提供することで森林資源の確保や紙ゴミの減量に貢献するものです。

2016年12月末にFSC森林認証を取得し2017年1月よりFSC認証紙を製造、販売しています。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標:安価で良質な段ボール原紙の安定供給による貢献を推進する

考え方:当社製造販売目標設定による

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	3Rの推進	産業廃棄物の分別、ゴミの分別による再利用を促進する	2021年度～ 2023年度
2	自家輸送 便トラックの 燃費向上	適正な貨物積載量の管理による燃費向上	2021年度～ 2023年度
3			
4			
5			
6			
7			
8			